

パブリックコメントに対する市の考え方について
【実施期間】令和 6 年 10 月 8 日(火)～11月 6日(水)
【意見数】提出者 36名・1団体(意見投函箱21名、電子 6名、Fax 6名、直接持参 4名)、意見数 46件

No	分類	コメント	市の考え
1	東寺方複合施設についての意見	1 児童館 児童、乳幼児の育成に大変有益に機能しており、また相続の関係で多くの個建住宅が計画され、さらに多くの需要が見込まれます。子育てに力を入れている行政は活性化していて、近隣からの移住者も増えるというデータもあります。先を見ずえて、どこにもひけをとらない児童館を造るという理念の実践が「子は地域の宝」の証左になると思います。 2 図書館 子ども達は本を読まなくなっています。多摩大学の教授から「文章が書けない大学生が増加している」との声も聞きます。一方多摩センターには新図書館が吹き100万人を超えています。見近かな地域の中に充実した図書館が是非とも必要です。地域の文化程度、教養の深さのバロメーターは図書館の貸出本数にもよるものと思います。学力向上、教養深耕、常識力には読書が肝要です。現在の水準を維持した図書館を存続して頂きたいです。 3 老人福祉館、市民ホールを廃止コミュニティ会館に変更との案を聞いていますが、現在の文化的会合、楽しみ会、具体的に〇〇、カラオケ、詩吟、コーラスなどが存続して、無料で利用できるようにして欲しいです。これらの活動は、近隣同士の情報交換の場所にもなっていて、地域の絆づくりや健康長寿に大いに役立っていることのメリットをご理解ください。老人福祉館での入浴サービスは、設立時の入浴事状も大きく変化していますので費用対効果で不要と思います。	いつも施設のご利用ありがとうございます。 公共施設は、現在、市の少子高齢化や施設の老朽化・利用状況を踏まえて、施設・機能を整理統合していく方向にあります。 そのなかで、東寺方複合施設は、老人福祉館・地区市民ホールとしては廃止しますが、コミュニティ施設(コミュニティセンター、コミュニティ会館のいずれか)として、今まで取り組んできた事業の実施に加え、子育て世代から高齢者の方々まで、多世代の方々ができるよう整備し、地域住民のみなさんとともに運営することを検討しています。 新たな施設の機能、運営体制については、今後引き続き、地域住民のみなさんとの意見交換会等において、周辺施設状況などとともに一緒に検討していただくなかから、新施設の整備方針・基本計画等として具体的に整理してまいります。 なお、来年度から東寺方地域のみなさんとの対話を本格的に再開する考えています。その際は、ぜひご参加いただき、ご意見賜ればと思います。 どうぞよろしく願います。
2		・老人福祉会館 市民ホール 現在、オカリナ・合唱等々使用されている方々には立地条件が良く利用して居ります。是非今後も同じ基準で利用が出来るよう希望致します。 ・図書館 近くに図書館があることは、文化都市として大変大事なことです。子供達や幼児の育成のためにも現状の図書館レベルを維持を強く希望致します。 ・児童館 元気に子供達が児童館で遊んでいるのは地域の者として子供達とのあいさつも出来、元気をもらえます。移動児童館ではない現状のレベルの児童館を希望します。今後益々建売の住宅が増える現実、子供が増える可能性が多いと思います。働くお母さん達の為にも考えて頂くことを希望致します。	児童館については、本パブリックコメントと同時期に行いました「児童館の今後のあり方基本方針(素案)」パブリックコメントの回答内にてお答えします。
3		1 東寺方複合施設(建物)について この施設は昭和55年に竣工し、昭和56年から運用開始となっている。新耐震基準の昭和56年以前の建物であり、耐震化、老朽化を考えると、自治会館等を含めて合築での建て替えを希望する。 2 老人福祉館、市民ホールについて ①市の提案する全世代が利用できるコミュニティ開館を了承。 ②しかし、高齢化率の増加化や今後とも元気老人を増していくために、高齢者の利用できる施設も残してほしい。 ③施設の運営方法は、委託方式の貸館でなく、現館長が色々な事業を展開し充実しているので是非市の直営方式を希望 ④地元の地域包括支援センターの新たな設置など相談機能を充実してほしい。 3 東寺方児童館について ①少子化の中で、東寺方地区周辺は、今後、建売住宅など住宅建設が増加し、未就学児、小学生などが増えていく地域である ②あたご児童館に統廃合されると東寺方児童館に来る子どもの居場所が失われてしまいます。 ③東寺方児童館をあたご児童館の分館と位置づけ、規模や会館日数を縮小して施設を存続してほしい。	
4		1 図書館 市民が読書をしたいと思う時、興味ある分野の本多数を借りたいと思った際、近隣に図書館があることの重要さを感じております。高齢者、子育て世代で共働きのご家族等遠方に図書館がありますと足が遠のいてしまうことと思います。老若男女皆がより多くの素晴らしい本に触れる機会を奪わないで頂きたいです。 2 児童館 少子化が進む中、子供が安心して遊べる場所が減らされてしまうことを大変残念に思います。子供達が元気一杯笑顔で地域の施設で遊ぶ光景はずっと残ってほしいです。児童館で学校以外のお子さん達とも出会いコミュニケーションを取ることで社会性も身に付き、公共施設でのマナーを学びよいことであると思います。 3 市民ホール 市民の方々が毎回楽しみに交流されている機会が継続できますような存続を切に願います。 4 老人福祉館での入浴サービスは利用者数とコストのことを考え不必要であると思います。	

No	分類	コメント	市の考え
5		1963年（S38年）7月11日に老人福祉法が制定されています。 基本的理念 老人は多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ、豊富な知識と経験を有する者として敬愛されるとともに、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されるものとする。 私は、複合館の老人福祉館で月1回絵手紙、月1回体操教室に参加して仲間と楽しく老後の趣味を続けています。 家より歩いて通える身近にある場所だからです。身近にあつまれる場所があり、しかも低料金で仲間とワイワイガヤガヤできる場所がある事は、生きがいにも通じています。 異年齢の人たちとの交流が子供たちや老人にも刺激になり、どれだけ心がなごまされるか、子供たちには社会の中で生きていく力をつけていくのではないかと思います。 基本的理念にもとづいた老人福祉を後退させるのではなく、老人が生きがいをもって生きていける様な施策をおねがいします。建物の作りかえをするにもこの場所での開館をお願いします。	
6		（概要のみ記載します。） 2 東寺方複合施設利用者である地域住民の基本的考え方 （1）人口について、①多摩市全体は令和2年がピーク、一方で②東寺方複合施設の利用者の周辺地域は現在がピーク この実態から、多摩市全体の人口推移の傾向から、市の全地域一律の見直し施策は誤りであり、「協創」の考え方にも反する。 （2）コロナ前に住民との意見交換会4回。これらで積み上げた内容を基にした見直し案であるべき。24/6/28に再開後の第1回、引き続き市民意見交換会（7/20、7/27）が開催。市と住民が協力して建設的な見直し案につながる話し合いとはなっていない。 （3）24/10/12の地域住民との打ち合わせも（2）と同様の状況。そのような中、11/14に基本方針を決定するとの市の方針は拙速すぎる。 3 東寺方複合施設のハード面、及びソフト面の考え方の一体的な見直し 東寺方・落川の地域は、市内でも地域コミュニティの基盤が整っている地域。うまく連携しつながりもつモデル的な地域。 地域住民の多くは、聖蹟桜ヶ丘駅方面へ向かう動きが基本。和田のカルガモ館やあたご方面への行動は限定的。 東寺方複合館の見直しには、上記の現状を無視してはならない。 4 東寺方複合施設の機能に盛り込んでほしい機能、運営体制、等について	
7		1 施設内を子供専用、高齢者専用と分けなくて、どの世代も自由に使える場所としたい。 2 地域の避難所となりえるような防災設備を整えておくのが良い。 3 利用料は然るべき料金設定はあって良い。 4 民間の力を利用したイベントなどを多く開催し、『あそこはいつも何かやっている』という位の活気ある地域の中心施設としたい。 5 東寺方図書館という地域の学びの場を中心に、地域の人と一緒に学んだり集まったりと、新しい地域のつながりを産む場所となると良い。 6 子供や高齢者は他センターへ行くのが困難。東寺方複合館は既存のコミュニティーセンターの補完という位置づけではなく、1つの独立した施設とすべき。 7 11月14日の基本方針の決定は早急すぎる。きちんと市民の意見を聞き、取り入れて進めて行って欲しい。	
8		私、東寺方自治会館で「わくわく子ども食堂」を実施している●●と申します。 東寺方自治会館は建て替えないと思っていましたが、「複合施設と一緒に」という案もあると聞きましたので、一言、言わせてください。 現在「こども食堂」は、参加メンバーが80名を越えております。 「子ども達が健やかに育つように、また親も健康でいる為に、たまには休息をとれる日があればいいなあ」という思いで、月2回～4回、食堂を開催しています。 これからも続けていけるように、また建て替えになる時は、より良く使い易い自治会館にして欲しいなあと考えています。 （例えば台所にエアコンを設置頂くとか、子供達が手を洗える場所を増やして頂くとか…いろいろ要望があります） 私達にも意見を聞いて頂くようお願い申し上げます。	

No	分類	コメント	市の考え
9		＜東寺方老人福祉館の存続願い＞ 東寺方、落川地区で唯一のコミュニティ施設が無くなる事を聞いて驚いております。 長年落川地区の住人としてこの福祉会館での図書館利用、会館内でのイベント等利用させて頂きました。 これから東寺方、落川地区でも高齢化が一段と進むと思われますが、当施設は今迄以上に重要な役割が求められると思われます。 “歩いて通えるコミュニティー”が必要です。 1、高齢者皆様の憩いの場 1、東寺方、落川、和田地区住民の福祉施設 1、高齢者と子供達の出会う場所 1、地域の教育施設としての図書館 1、災害等の総合スポーツセンターの補助的機能 上記等々の理由に寄り東寺方会館の存続を願うものです。 * 安心、健幸な街造りの多摩市を目指している現状、予算、予算の枠だけで市民の楽しみを奪ばはないで下さい。 以上、コミュニティ施設を存続して戴く為のお願いです。	
10		東寺方老人福祉館の存続願い 先日おそばが大変美味しかったので今月も申し込みに行った時、福祉館が無くなる事を聞き大変驚いています。 多摩市に移り住んで50数年、地域の皆様と楽しく交流して参りました。 以前福祉館での食事会の朝から食事作りのお手伝いで、当日参加20数名の方との交流を思い出します。 カラオケ、絵手紙等お元気で楽しそうに交流している憩いの場です。 高齢になった今、近くに憩いの福祉施設が有る事で“行ってみよう”“参加してみよう”等、外に出る切っ掛けになり、いつまでも元気で、多摩市に住み続けたいと願っています。	
11		コミュニティ会館というものにどのような設備が用意されるのかにもよるが、老人福祉館としての機能は無くすべきではない。 2030年問題が取り沙汰される中、東寺方老人福祉館のように、地域のお年よりと職員さんが顔見知りになり関わるという場は、お年よりの見守りにもつながり地域のために非常に役立っていると感じる。 また、独り暮らしの方が気軽に訪れる事ができる事も、娯楽や気分転換、健康寿命の延伸につながる。 地区市民ホールについても、市民が使いやすい貸室として存続すべきである。 市内の様々な地域でイベントや秋まつり等割と頻繁に開催され多くの団体が参加している。 今後の文化の発展のためにも、地区市民ホールが必要と考える。 また、自身は東寺方住宅で幼少期をすごしたが、団地住民は東寺方自治会館を使わせてもらうことができず、地区市民ホールに大変助けられた。 そのように、住民同士の問題に関係なく場所を使える公の設備は住民にとって非常にありがたく、今でも利用している。 コミュニティ会館となるとしても、今ある設備は用意し、今利用している方が不便になることなく、今利用していない方にも利用してもらえるよう、素案の改善が必要である。	
12		老人福祉館も地区市民ホールも廃止を決定しているのはそもそもおかしい。 「コミュニティ施設」がどれほどの規模を想定しているのか知らないが、現在まで必要や需要のあった設備を要望があったにもかかわらず廃止するのはいかがなものか？ 今日まで地区市民ホールを最大限に利用させていただき、他団体との共演、施設のイベントへの参加等も行ってきたが、廃止されると一切関係のない施設になってしまう。	

No	分類	コメント	市の考え
13		東寺方、地域、市制での施設、東寺方複合施設、総合体育館、自治会館と地域の誇りに思います。 東寺方複合施設につきましては、地域の会話、体話の出来る施設ですね。 触れ合い絆を続けて下さい。 複合施設も継続して下さい。	
14		東寺方複合施設としてこのまま残してもらいたい。 高齢者の集う場所として現在、週20～30人の人が麻雀を楽しみに来ています。 他のかるがも館では地理的に不便です。 また学童施設にしても他への移転は利用者にとっては考えられません。 出来ましたら、このまま継続して施設が残るようお願いします。 また、このまま残した場合でもお風呂は続けてもらいたい。 尚、いつれの場合でも外部委託は反対です。	
15		建て変えて福祉会館はぜひ残していただきたい。 3階のお風呂はぜひ残してほしい。 図書館も残してほしい。 娯楽室も。ぜひ健康麻雀は続けたいです。	
16		7～8年ほど施設のお世話になっております。 館長が楽しい催し物を企画してくださり毎回来させていただいております。 二胡の演奏会などの音色は心に残っています。 この施設はバスの便よし、バス停からの距離など立地がよく高齢者として大変助かっています。 そのため、毎日の日課としております。 先日、金沢に行った際、災害のことを耳に致しました。 災害で、一番困ることはお風呂とトイレがないことと聞きました。 多摩市で災害が起きた際、立地が良いこの施設のお風呂、トイレを利用する市民も多いのではないかと考えます。 以上踏まえて今後も施設の存続を強く希望いたします	
17		各々の福祉館のあり方について。 コミュニティ施設という形に変えるという事ですが、地域にとって多摩市民のイコイの場となっておりますが、大事なのは災害の時の変わり様もない住民の由一の場所となるべき建物で有とされます。 その点では、フロの設備も重要なものでトイレも重要で有り、児童にとっても年寄りにとっても東寺方の設備は大事だと思われます。	
18		◎図書館が残ることには安堵しています。 A. 児童館について B. 福祉館について [1]AもBも、結論から言いますと、今の場所での存続に賛成です。 ①交通の便がよい②バス停が近③体育館も近い④東寺方小学校も第二小学校も等しい位の距離⑤公園もある⑥近くに消防署もある、こんな利便性の良い所は、大切にしたいです。 [2]利用者数①今、利用者数が少ないからと言って統合するのではなく、先を見て欲しいです。②現在、東寺方、和田地区では、新築の戸建があちこちで建設されています。入居すれば間違いなく人口増がやってきます。その時になって慌てても遅いのです。 [3]①建物を壊すにしても費用がかかります。今の建物の不備な所を改修して大事に使った方が経済的なのではないのでしょうか。②物を大切にするという子供の教育にもなりませんか。 [4]3階の福祉館について、①約60才以上の方々が、各々の趣味を生かして通ってきています。行く所があるということは、生活意欲も湧き、健康につながります。②結果的には医療費の削減に繋がっていきます。③身近な地域にあるからこそ、通えるのです。 どうぞ御一考をお願い致します。	

No	分類	コメント	市の考え
19	諏訪複合施設に関する意見	諏訪老人福祉館を利用させて頂いております。 所属バンド(Forever)の練習と入浴施設でお世話になっております。 たいへん便利に使っており感謝しています。 これからも永くお世話になりたいと思っておりますので、今後共このような施設がありますことを強く希望しております。 宜しくお願い申し上げます。	いつも施設のご利用ありがとうございます。 公共施設は、市の少子高齢化や施設の老朽化・利用状況を踏まえて、施設・機能を整理統合していく方向にあります。 そのなかで、諏訪複合施設は施設・設備の老朽化対応のため、現在の施設のまま運営することが困難であり、当面、地区市民ホールとして世代を問わず広く利用可能な施設として仮移転し、運営することを考えています。 仮移転の間は、活動できるスペースが縮小してしまう可能性があります。 別途、諏訪・永山地域の都営住宅の建替え、URによる団地再生事業に併せて、将来的に整備しようとしている新たな施設の建設・運営については、今後地域のみなさんと話し合いながら検討してまいります。 地域のみなさんは単に利用者ではなく、ともに建設や運営を考えていく主体になっていたきたいと考えています。 ぜひ一緒に検討いただけると幸いです。
20		諏訪複合施設を使用している地域の老人会です。会員は現在71名です。 毎月定例会、麻雀、カラオケ、軽スポーツ(輪投げ、ポッチャ)等で老人福祉館、市民ホールを合わせて10回位使用しています。 老朽化による建替えは必要と思います。 諏訪、永山地区にはコミセンやコミ会館がなく是非代替施設をお願い致します。 出来た施設に合わせて活動する事になると思いますが、希望は下記の通りです。 (1)全体のバリアフリーを考えて欲しい (2)トイレに衛生的な温水シャワーをつけて欲しい (3)老人会の人数はこれから増える事が予想されるので、80人が収容できる部屋の確保(仕切りを外して大部屋にしても良い) (4)量の部屋は老人会としては不要(足や腰が痛いなどで座れない) (5)麻雀は人気行事で現在でも3卓で足りない位です。この麻雀の道具(牌、卓)を保管するスペースの確保 (6)他の軽スポーツ(輪投げ、ポッチャ)の道具の保管スペースの確保 (7)通信カラオケを導入して欲しい(有料) (8)利用者でカラオケ大会、文化祭、舞踊発表会等をしていますが、(1)の大部屋でやれば良いと思う。段差のあるステージは不要。車椅子の人がステージに上がれない。 以上、宜しくお願い致します。	
21		諏訪会館には平素大変お世話になり有り難く思っております。 1人居(80才)(息子二人は別住)膝痛も長年あり、近頃は杖を使用することが多いです。 いつまでも現在の生活を続けて行くのがよいと考えておりますので老人会(虹の会)、老人体そう、整形外科に電気治療に行き、フレイルに落ち込まない様、努めているつもりです。 諏訪会館には入浴をはじめ、大変感謝しておりますので、末永く現状維持をと願っております。	
22		将来的にコミュニティセンター、会館として整備されることは最も望ましい事です。 私の願いとしては、老人の健康維持の一つとして、お風呂の施設を造っていただきたいです。併設でも、別設でも、町田市のことですが、ごみ焼却場からの余熱を利用したお風呂施設が新しく出来たと聞いておりますが、(すでに多摩市では福祉センターに常設されているのは知っています) 是非、御検討下さい、	
23		・新しい施設の利用は無料にして下さい ・和室の設備は作って下さい。洋室ばかりではつまらないです ・利用の予約は取りやすくお願いします ・長い間利用させていただき会員一同感謝申し上げます。利用する時には従来通りの老人クラブとしての活動が計画的に活動に拌借出来る様に近場の建物に移動を心から念じて無事に老後の楽しみをふやして過すことを願ってます ・新しい施設は諏訪2丁目内が希望です ・老人会専用施設を是非設けて欲しい ・祭日使用時に現行はコピーが取れず不便であり最低コピーくらいは取れる様にして欲しい ・カラオケ施設を充実させて下さい ・古いのはやめて下さい(カラオケキカイ) ・安心、安全、便利な施設を望みます。 ・老人会には使用料金を一般利用者と同額でなく、割引制度をお願いします。 ・老人会仕様で舞台を設置して欲しい!!	

No	分類	コメント	市の考え
24	既存の風呂（東寺方複合施設）に関する意見	いつも風呂を入れる事を感謝しております。 建物を立て直しするべく、かまいませんが、フロダケは、従来通り、入れる様にして欲しいです。この辺にはせんとうがありませんので、現在は、非常に助かっております。フロはきれいなので、直す必要はないと思います。	いつも施設のご利用ありがとうございます。 公共施設は、市の少子高齢化や施設の老朽化・利用状況を踏まえて、施設・機能を整理統合していく方向にあります。 そのなかで、現在の老人福祉館は廃止をしていく方向ですが、全世代が交流し、コミュニティ形成をはかる機能をもったコミュニティ施設に転換していくことを考えています。 東寺方複合施設の老人福祉館にある入浴施設については、コミュニティ施設に機能を転換していくにあたり、福祉的避難所にもなっていることから、どのような機能を残していくかについて、今後、地域のみなさんとともに検討していく必要があります。 諏訪複合施設は、地区市民ホールとして仮施設へ移転させていくため、仮施設としての運営期間中は、入浴施設をご用意することはできません。 将来的に整備しようとしてしているコミュニティ施設の建設に向けては、別途、近隣地域の開発状況などを踏まえ検討していきたいと考えています。
25		1 東寺方複合施設の老人福祉館の廃止に反対です。 高齢者、特に一人暮らしの老人にとっては、風呂が廃止されることは社会との断絶をつきつけられるも同然です。 バス停からも近く、健康維持に欠かせない風呂は絶対なくさないで下さい。 住民の健康増進をはかることは、自治体の本来の役割です。 自治体の役割を簡単に施棄しないで下さい。 2 児童館について 愛宕児童館と東寺方児童館の合併に反対です。 自宅から遠く離れた児童館は、児童館としての役割が果せません。近くにあってこそ児童館です。 住民に対する市の説明が性急すぎます。 住民との話しあいが不十分なまま強引に事をすすめることに納得がいきません。	
26		老人福祉館について 友人で風呂を利用している人がいます。1人住いです。友だちと時間を合わせて利用していました。 風呂のあとは弁当を食べながらおしゃべりして楽しいと言います。 今は東寺方にしかないのでバスでくるそうです。 今は息子のところに行きましたが、こんな人が多くいると思います。 大変だからなくすのではなく、どうすれば続けられるのかと考えて下さい。 コミュニティでなく今のような方法を望みます。	
27		人間にとっては家族が1番大切で助け合うものと思います。 人間は地球という家族に属し、日本人は日本という家族に属し、多摩市民は多摩市という家族に属していると思います。 家族は知り合えなければ助けの手を伸ばせません。 小さな単位の家族が知り合う場が必要だと思います。 大きくて立派ではなく、小さくても近くにです。 お風呂は特に素晴らしいです。 人間であれば誰でも必要で、人のふるまいを見て学んだり、毎日のように会って話ができます。 困っている人と出会ったら、出会った人から助けを始められます。 小さい、近く、人に知られないが大切だと思います。 小さなかわり合いで自分達で助け合っていくことです。 家族の問題というのは、世界中に知られないで解決していきます。 小さくて近くのコミュニティで助け合っていくためには小さくて近くにある誰が必要な（お風呂は最高です）コミュニティが大事です。 人からすごいと言われたい、目立つことのない、賞賛されない、でも家族の嬉しいコミュニティを家族のために作って下さい。	
28	既存の風呂（諏訪複合施設）に関する意見	諏訪老人福祉館、改修移設に移設場所に老人福祉館としては廃止との情報ですが残してください。 特に風呂の設備をお願いします。 多摩市は老人を切り捨てない市をお願いします。	
29		私は現在80才になりました。こちらのお風呂に来るのが大へん楽しく週4～5回利用させてもらっています。 おふろの日は大切な日課になっています。 今後もしひ、つづけてほしいと願っています。 電気、ガス、水道等高くなり、個人的に大変な折、本当にたすかります。宜しく継続の程お願い致します。	
30		ここが無くなるとお風呂に入れません。 どうかお願いします。	

No	分類	コメント	市の考え
31	これまでの市の進め方についての意見	いきなり老人福祉館・地区市民ホールを廃止するというのは乱暴ではないでしょうか？ 10年前に行動プログラムが出た時に東寺方複合館を廃止し、中に入っていた図書館、老人福祉館、児童館を廃止すると書かれた時とよく似ています。 行動プログラムの時点修正後、複数回の話し合い、説明会などが開かれましたが、その時にでた意見などは聞き流されて今回の素案が出てきました。 東寺方複合館で複数回行われた説明会・話し合い、同様なことが豊ヶ丘複合館でも言えます。 豊ヶ丘地域の方々は納得されているでしょうか？ 東寺方複合館では話し合いがやっと再開されたところですが。 この基本方針をどうしても11月14日に庁内決定したいようですが、あと10日以内に「決定」するというのは無理があると思います。 同様な意見が市議会議員、市民から複数あがってきていることも考えてください。 あまりにも拙速です。 素案の内容に違和感を感じますが、その内容全てに反対するわけではありません。ただ行政の進め方に違和感を感じます。	ご意見ありがとうございます。 施設の老朽化などの対処は待ったなしの事情もあり、各地域の事情や状況に応じて各複合施設ごとに市として整理する今後の施設種別、運営の方向性を基本方針の中で示しています。 老人福祉館がなくなっても、地域コミュニティの中心となる交流の場や機会は残していきます。 この方向性を今回決定し、その前提で地域のみなさんとの意見交換会等にて各施設において整備する具体的な機能や持続的な運営方法に関して、継続的に地域・利用者のみなさんと検討していくことを考えています。
32		3. 「豊ヶ丘複合施設」「東寺方複合施設」の存続を求める陳情が市議会で「採択」「趣旨採択」されたことを考慮して「基本方針」が策定されたのでしょうか。 4. 2016年11月に「施設廃止方針を見直し市民と対話していく」ことになり、豊ヶ丘と東寺方で対話が始まりましたが、それぞれの地域住民との対話内容が異なるのに、二つの施設に対する市の方針がほぼ同じ(老人福祉館廃止、地区市民ホール廃止、コミュニティ会館として両施設とも同様の運営形態)です。地域住民との対話を重視して方針を決定したのでしょうか。 5. 長期にわたり地域住民の意見を聞く場を設けたことの努力は認めますが、そこから地域住民の意思を行政に反映する手法については問題があると思います。市の方針はほとんど白紙のままで住民に意見を出させ、方針を提示したのが2024年5月。しかも住民との対話に参加していない協創推進室が対話を考慮せずに「基本方針」を提案したものと考えています。方針を提示して半年で決定するというのはあまりにも拙速すぎるような気がします。行政の方針が提示されてから本当の対話が始まるのではないのでしょうか。 6. 「コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針」のパブリックコメントを11月6日まで募集して、11月14日に庁内決定をする予定(p30)が記載されています。1週間ですべての声を把握、検討し「基本方針」を見直すことができるのでしょうか。対話を無視した決定のプロセスだと思います。	ご意見ありがとうございます。 3. については、廃止撤回を求める陳情が、「豊ヶ丘複合施設」は採択、「東寺方複合施設」は趣旨採択された経過についてはご指摘のとおりです。その後の地域のみなさんとの対話、市としての公共施設のミライへの考え方を基に「基本方針」を策定しています。 4. は今後の人口動態を踏まえ、施設利用について年齢層を限定せず、幅広い方にご利用いただける施設を目指すという趣旨で提案しています。この提案については、地域のみなさんとの対話からいただいたご意見を基に検討したものです。 5. 6. については、施設の老朽化などの対処は待ったなしの事情もあり、各地域の事情や状況に応じて各複合施設ごとに市として考える今後の施設種別、運営の方向をここで示しています。 老人福祉館を再編し、地域コミュニティの中心として多世代が交流する場に転換していきたいと考えています。 この方向性を今回決定し、その前提で地域意見交換会等にて各施設において整備する具体的な機能や持続的な運営方法に関して、継続的に地域住民・利用者のみなさんと検討していくことを考えています。 また、本基本方針については、11月14日に決定予定としていましたが、ご指摘を受け、庁内でさらに慎重に検討することとし、適切な時期に決定していくこととしました。
33		この度の、市から出された多摩市のコミュニティ施設についての基本方針(素案)は、素案が市民に公表されて、市民に周知される期間があまりにも短く、多くの市民の知らないうちに、素案として決められていくのではないかと、懸念しています。特に、今回の素案によって再整備される予定の、豊ヶ丘複合施設(地域図書館・地区市民ホール・老人福祉館・児童館)等、の機能について、具体的に10月6日に新しい構想が提示され、10月12日に東寺方複合施設でも説明され意見交換会がもたれました。 どちらの複合施設も、再構築される対象になっており、豊ヶ丘では、これまでも多くの子供たちが集う児童館の賑わいを見たり、元気な声を聴きながら、様々な学習会・講座と会議や集会などに参加するなど、多方面な分野の団体が利用する人達からも、子ども達が、別の地域に児童館がこれからの10年20年が人口減少時代になるからと、先に施設の縮小を第一義とした、この度の再整備方針が断行されては、益々人口減少傾向を助長することになるでしょう。ぜひ、市役所の方々も熟慮され、児童館も含めてのコミュニティ施設として、検討し直してください。 以上	ご意見ありがとうございます。 施設の老朽化などの対処は待ったなしの事情もあり、各地域の事情や状況に応じて各複合施設ごとに市として考える今後の施設種別、運営の方向性をここで示しています。 この方向性を今回決定し、その前提で地域の意見交換会等にて、各施設において整備する具体的な機能や持続的な運営方法に関して、継続的に地域・利用者のみなさんと検討していくことを考えています。 また、本基本方針については、11月14日に決定予定としていましたが、ご指摘を受け、庁内でさらに慎重に検討することとし、適切な時期に決定していくこととしました。

No	分類	コメント	市の考え
34		全体的な工程がよくわからない 東寺方会館について 老人福祉館・地区市民ホールを廃止する理由を明確にしていきたい。 上記を廃止することは、コミュニティ施設のミライの趣旨に反するのではないか 関連施設の建て替え・廃止の前に関連する地域住民へのアンケート調査等は必須である。	ご意見ありがとうございます。 本基本方針は市としての方向性を示したものです。 この基本方針を基に各施設の見直しを進めてまいります。 また、施設利用者の年齢層を限定せず、より幅広い市民のみなさんにご利用いただけるよう、老人福祉館・地区市民ホールをコミュニティ会館等に転換していくことを検討しています。 なお、施設の老朽化などの対処は待ったなしの事情もあり、各地域の事情や状況に応じて各複合施設ごとに市として考える今後の施設種別、運営の方向性をここで示しています。
35	「基本方針(素案)」の構成について	(基本方針の全体構成の見直し) ・「コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針」(以下基本方針)素案では、「4コミュニティ施設の整備状況」のあとに、長々と「5 各施設の概要・利用状況」が続く構成となっているが、「基本方針」である以上、全体像を示すことに主眼を置くべきであり、「5 各施設の概要・利用状況」は資料編として方針本体から外し、末尾に持ってくるべきである。そのうえで、前の項目で提言した「将来像」を「6 コミュニティ施設の今後のあり方(全体)」の中に書き込んでいただきたい。	ご意見ありがとうございます。 「5 各施設の概要・利用状況」は、方針を議論する際にも必要と考える、現施設の状況を端的に知っていただくための資料として掲載しているものですが、ご意見を参考に、コミュニティ施設の今後のあり方を示すことが中心となるように検討いたします。
36		(「6 コミュニティ施設の今後のあり方(個別施設)」の削除) ・豊ヶ丘や東寺方複合施設については、現在地域意見交換会を進めるなど、その在り方につき、ゼロベースで「市民や利用者との対話により施設のあり方について検討する」とこととしている。このため、基本方針の中に個別の複合施設だけを取り上げて、「施設の種別」や「施設の運営」につき予め既定方針＝決定事項であるかのような記載があることは、市と、市民や利用者との円滑な対話や信頼関係形成の妨けになるため、「基本方針」に記載するのは不適切である。「6 コミュニティ施設の今後のあり方(個別施設)」はすべて基本方針から削除していただきたい。	ご意見ありがとうございます。 「6 コミュニティ施設の今後のあり方(個別施設)」については、各地域の複合施設ごとに、市として考える今後の施設種別、運営の方向性を示しています。 この方向性を今回決定し、その前提で地域意見交換会等を開催し、各施設において整備する具体的な機能や持続的な運営方法に関して、継続的に地域のみなさんと検討することを考えています。 この観点から、「6 コミュニティ施設の今後のあり方(個別施設)」は削除しないこととさせていただきます。
37		(「1・2・3コミュニティ施設の設置目的、経過、計画上の位置づけ」、の表現方法の修正) ・基本方針策定に当たり、「1・2・3コミュニティ施設の設置目的、経過、計画上の位置づけ」という1枚に情報を集約しているが、「公共施設に関する意見交換会」(2024年7月)での説明資料を転用した簡潔なものであるため、記載内容に正確性を欠き、基本方針(素案)を所管する事務局の意図を正確に伝えることができない内容となっている。「基本方針」素案に相応しい内容に見直すべきである。 ・例えば第六次総合計画での位置づけの引用箇所はC-3「多世代共生型のコミュニティづくりの推進」の「(4) 既存の活動等の活性化、環境整備」の部分だけが対応するかのような書きぶりとなっているが、「多世代共生」は既存の活動等の活性化、環境整備、に留まるものではなく、誤解を招く記載内容である。 ・こうした不備を是正するためには、例えば「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム(総論)平成28年11月」2頁で整理しているように、「まずは」最上位の第六次多摩市総合計画基本構想や基本計画(現在生きていない第四次や第五次の記載は当たり前だが誤解を招くので記載しない)や公共施設のマネジメント計画、関連する行財政計画など、市民が念頭に置くべき、諸計画との関連を、策定期間に応じて分かり易く盛り込み(特に後述の通り、コミュニティエリアの考え方が第四次総合計画に淵源をもち、第六次総合計画に記載がないことも念頭に置く必要)、基本方針策定の背景につき、市民の理解を促進する必要がある。このため「1・2・3」と1頁に纏めることなく、1 設置目的、2 これまでの整備経過、3 計画上の位置づけ、ごとに対応した、丁寧な内容を記載するよう修正すべき、かつ文字の大きさや選択するフォントの種類も、バリアフリーも考慮し、判読しやすいものとしてほしい。	ご意見ありがとうございます。 本基本方針は、個別施設の整備方針や基本計画に進んでいくための考え方を示すものであるため、簡易な記載となっています。 ご理解いただければ幸いです。

No	分類	コメント	市の考え
38		(「7 今後のスケジュール」の記載方法をロードマップ方式に見直し) ・基本方針素案30頁の「基本方針を決定するまでのスケジュール(予定)」はすでに期日が到来している「10月24日庁内協議」の記載があること、あるいは豊ヶ丘・東寺方における地域意見交換会が10月に始まったばかり、ということも考慮すべきである。また「9月11日(議会報告)意見交換会の実施報告(総務常任委員会)」で終わりではなく、今後も継続事項としての位置づけになるはずである。こうした点及び、上記の通り、「6コミュニティ施設の今後のあり方(個別施設)」を削除すれば、基本方針としての大きな合意形成は早めにはできるはずであり、基本方針の構成や位置づけを全面的に見直すことが妥当である。そのうえで「基本方針を決定するまでのスケジュール(予定)」の「日程」欄も、全体の流れ(プロセス)と各プロセスの内容を明記したうえで、「年月日までは書き込まない」ロードマップ方式に見直すべきである。できれば、基本計画だけでなく「市役所本庁舎建替基本計画」のように(同計画素案7頁)、基本方針の位置づけと今後の流れが鳥瞰的に理解できるような記載してほしい。 ・もともと、最初の提言事項に記載の通り、コミュニティエリアの概念が第六次総合計画で有効性を失っているとすれば、基本方針そのものは一回撤回することになり前提が崩れるため、このコメントは新たに練り直した「基本方針」案において考慮頂ければ結構である。	ご意見ありがとうございます。 タイトルの「7 今後のスケジュール」とは、基本方針を決定するまでのスケジュールを示しています。今後の個別施設の整備に関するロードマップを提示できるようご意見を参考に検討いたします。
39	「コミュニティエリア」について	(コミュニティエリア内における公共施設マネジメントとその機能やサービス提供体制) ・素案の「1・2・3コミュニティ施設の設置目的、経過、計画上の位置づけ」4頁から「4コミュニティ施設の整備状況」5、6頁にかけて、「コミュニティエリア」という概念が出てくるが、これは第四次・第五次総合計画には記載があるものの、第六次総合計画には根拠がなく、果たして現在も、市の施策として有効なものが不明である。過去の総合計画にしか記載がないとすると、先行計画の計画期間に多摩市内に居住などしていなかった「現在の市民」にもなじみがないものである(ちなみに第四次計画は市のホームページにも説明や計画そのものの掲載がなく、行政資料室に外向かないと閲覧できない)。通常、基礎自治体の総合計画は、次の計画の策定により、以前の計画は塗り替えられる(上書きされる)ため、最新の計画のみが施策展開の唯一の根拠となると解されている。この点につき、総合計画を所掌する企画政策部企画課とも改めて見解を整理のうえ、第六次計画においてコミュニティエリアの考え方が採用されていない背景を確認し、もしこの点があいまいなのであれば、今回の素案における「コミュニティエリア」単位でコミュニティ施設の整備を提示する今回のアプローチは根拠を失い、論理的に破たんしていることになるため、「基本方針」をいったん撤回の上、再度内容の練り直しが必要である。	ご意見ありがとうございます。 「コミュニティエリア」という考え方については、第六次総合計画においても継承されています(同計画149ページの用語解説にも掲載されています)。これは主に、コミュニティセンターなどを整備するにあたって、生活圈や自治会、ニュータウンの街区などの地域のまとまりを考慮して、ゆるやかに設定したものであり、現在もコミュニティ施策の根拠としています。 なお、福祉、教育、都市計画などの行政分野でもそれぞれの経緯や施策の視点、ニーズ、規模ごとにエリア分けしているものもあり、「コミュニティエリア」の考え方が、全分野に統一的なものではありません。
40	「コミュニティエリア」について	(コミュニティエリア、に基づく提示を採用する、とした場合でも・その2) ・もしコミュニティエリア、に基づく提示を採用するとしても、その根拠が第四次総合計画(策定作業は1990年代と今から20年以上前)まで遡るとすれば、そのエリアの有効性や、多摩市の施策において、コミュニティエリア単位で継続的に取り組んでいる事例はあるのか、例えば同時にパブコメ募集中の児童館など他の公共施設なども含め、統一的な概念として、市の施策を貫くものとして、現在もエリア単位で有効性が確認できているのか、など再検証が必要である。(反対に、基本構想段階から第六次計画にコミュニティエリアの根拠が盛り込まれることになっていれば、最新時点での整理・検討がなされているので、こうした課題は生じなかったはず)。	
41	コミュニティ施設の将来像	(コミュニティエリア、に基づく提示を採用する、とした場合でも・その1) ・もし最後まで、コミュニティエリアに基づき多世代共生を目指すコミュニティ施設のあり方につき基本方針を立てるとすれば、「4コミュニティ施設の整備状況」＝現状が、将来的にどういった姿になるのか＝将来のエリアごとの配置、を、「4コミュニティ施設の整備状況」と同じ形で示すべきである。 ・これに関連し「6 コミュニティ施設の今後のあり方(全体)」(1)施設の再編、機能転換の考え方(25頁)の第1パラグラフに「既存のコミュニティセンター(9館)、コミュニティ会館(2館)」については、これまでの整備の経過を踏まえ、当面の間は存続させていく」という下りで「当面は存続」との表現が見られるが、多摩市が目指す将来像としては、コミュニティエリアごとにどういった姿を描いているのか、「(ある程度幅をもって)」になるかと思うが「将来像」を明確に示し、そのうえで「当面の姿」から「将来像」に至るロードマップを示すことで、市民の安心感を確保すべきである。	ご意見ありがとうございます。 将来人口構成など運営の持続性が確定的でないため、エリアごとに施設の将来像を現時点で明確に定めるのは困難であることをご理解ください。 例えば第6(馬引沢・諏訪)エリア・第7(永山)エリアはコミュニティセンターが現状では整備されておらず、整備を希望される声もありますが、団地の建替えなどによって土地や居住者の状況が変化していきます。 今回の基本方針では、将来のコミュニティセンター又はコミュニティ会館化の検討の可能性に言及しています。 一方、既存の施設は耐震化や設備機能の老朽化など使用停止が余儀なくされます。そうしたことは他施設でも起こり得るため、市が単に施設を継続させる決定をするだけでなく、地域みなさんによるコミュニティの継続・発展をハード・ソフト両面から支援していきたいと考えています。

No	分類	コメント	市の考え
42	コミュニティエリアに基づく、 具備すべき地域施設充足度	(コミュニティエリア、に基づく提示を採用する、とした場合でも・その3) ・コミュニティエリア、に基づく提示は、コミュニティ施設だけに適用されるとした場合(なぜコミュニティ施設だけに適用されるのか、その根拠は極めて薄弱だが)、多世代共生を担う児童館その他の共生に資する施設全体として、各エリア内で、多世代共生に必要な機能について、エリアが異なっても均しく充足されることの検証が必要である。このため、多世代共通に必要な機能を市民に提示したうえで、その機能ごとに、10のコミュニティエリア内での充足度を、マトリックス方式で検証した結果を整理し、市民や利用者に分かり易く基本方針の中に盛り込んでほしい。さもないと、個別の施設単位で、市民からサービス低下への懸念や不満の表明が続き、納得感がない着地になりかねない。	ご意見ありがとうございます。 どのような観点で区切り、施設を並べて比較したとしても少なからず地域差は出てきます。またエリアごとにとっても、同一エリア内でも駅が主たる生活圏なのか、複合施設のある周辺が主たる生活圏かによってもサービスへの満足度の声に違いがあることをご理解ください。
43	老人福祉館廃止への反対意見	1. 圏人の割合が増えている多摩市において、老人福祉館を廃止することに反対です。老人福祉館を廃止するなら、それに代わる老人施設が必要だと思います。 2. 「老人福祉館からコミュニティ会館への機能転換により、特定 の世代に限定されていた施設の利用対象を、全ての世代に拡大した」「多世代が利用しやすい施設にするため、1階の児童館遊戯 室だったスペースを、改修後は多世代が自由に利用できるラウンジ(図書・学習コーナー併設)とした」(18ページ)連光寺の例が挙げられていて、その結果利用者が大幅に増加したことが記載されています。視点を変えると、老人や児童の特化した居場所がなくなり、きめ細かい行政サービスが削減されたとも言えるのではないのでしょうか。行政が胸を張って自慢できることではないように感じます。	ご意見ありがとうございます。 公共施設は、現在、市の少子高齢化や施設の老朽化・利用状況を踏まえて、施設・機能を整理統合していく方向にあります。 ご指摘の通り、老人福祉館は60歳以上の高齢者のみの利用やお風呂など限られた利用者に対するきめ細かいサービスです。 しかし、将来人口見通しなどから、現行の公共施設をすべて今のまま維持することは困難です。 多世代の方々が、限りある施設をシェアしていく方向で検討していきたいと考えています。 連光寺の例もありますが、東寺方や豊ヶ丘では図書館が立地し、子育て世代から高齢者の方々まで活動できるコミュニティ施設として福祉館に代わる施設を検討していきます。 同施設の整備方針(機能面や運営面の方針)は地域のみなさんとともに一緒に検討してまいります。
44	連光寺老人福祉館とコミュニティ会館の利用状況比較について	(「(参考) 連光寺 老人福祉館とコミュニティ会館の利用状況比較」、の記載内容の修正) ・基本方針素案18頁に「(参考) 連光寺 老人福祉館とコミュニティ会館の利用状況比較」が機能移転の成果が上がっている例、として紹介されているが、この素案がコミュニティエリア単位での整備を目指している以上、単体の施設だけの分析とその紹介では不十分で、コミュニティエリア「第2(連光寺・聖ヶ丘)」全体を見渡した分析内容とすべきである。 ・ちなみに、「4コミュニティ施設の整備状況」5頁の「第2(連光寺・聖ヶ丘)」には、18頁記載の「コミュニティ会館」が愛称で記載されているようだが、「5 各施設の概要・利用状況」と施設名が微妙に異なるものもあり(例:大栗川かるがも館と大栗川・かるがも館)、施設全体を正式名称に統一されたい。	ご意見ありがとうございます。 本来はご指摘のようにエリアでの相乗効果など成果が計測できるとよいと思いますが、この「(参考) 連光寺 老人福祉館とコミュニティ会館の利用状況比較」については、最近、老人福祉館から多世代で活用できるコミュニティ会館へ機能転換した施設として、利用者状況の機能転換前後の比較を掲載したものです。 また、施設名称の統一については、ご意見を踏まえ分かりやすいものになるように修正を検討します。
45	現施設の運営への意見	2人の子供がテーブルに物を広げて4人席を占領していたりさわいでとてもうるさかったり いつも同じようなお年寄りもず一つというようでこちらがたまに使いたくとも席が空かないので不便です。 また 入口前でもボールをけて遊んでいる子供がいてとてもあぶないのでしっかり注意も指導してほしいです	施設のご利用、ご意見、ありがとうございます。 コミュニティセンターは、地域住民による運営協議会及びスタッフにより運営されています。 子育て支援、高齢者活動の場など多世代の利用があることから、ご意見のような事象は今後も起こり得るものと思われます。 運営協議会、スタッフ、利用者が互いに声を掛け合い、配慮し合えるようなコミュニティ施設の利用のあり方へのご意見として参考にさせていただきます。
46	その他	私としてとても便りに使わせてもらっているのではいいは困る 年も92才なのでここは大事です。	いつも施設のご利用ありがとうございます。 多様な地域のみなさんがこれからも使い続けたいと思える新施設の検討を地域のみなさんと引き続き進めてまいります。